

女木島：ここに鬼が

女木島は高松港の北方約 4 キロのところであり、高松港からフェリーで 20 分で行くことができます。便利な場所にあるため、女木島は瀬戸内海の島々を探索したい観光客にとって理想的な玄関口です。

女木島は、「桃太郎」つまり「ピーチボーイ」の冒険に関する人気の日本の民話にちなんで、「鬼ヶ島」の形をとっています。この若い主人公は遠くの島である鬼ヶ島へと向かい、仲間の犬、猿、キジと一緒に鬼の一団と戦います。桃太郎とその仲間たちは鬼を倒し、隠れ家から宝物を取り戻し、英雄として故郷へ戻ります。地元の伝説によれば、女木島の鬼ヶ島大洞窟は深さ数百メートルで、島の古代住民によって崖に掘られたとされており、かつては鬼が住んでいたのです。このテーマは島のいくつかの地名に登場し、鬼ヶ島海水浴場もそこに含まれます。ここは高松の住民に人気のある夏期の保養地であり、街と山頂の平らな屋島の景色を眺めることができます。

鬼の伝説とは関係ありませんが、鷲ヶ峰の風光明媚な展望台は一見の価値があります。ここは海拔 188 メートルの山頂にあり、瀬戸内海を 360 度見渡すことができます。鬼ヶ島大洞窟から徒歩約 10 分で行けるこの見晴らしの良い場所は、女木島の 3,000 本ほどの桜が島をピンク色に染める春に特に人気があります。もう一つの有名な花見スポットは、女木島港と女木島灯台を結ぶ遊歩道です。

一年中見られるのは、女木島の家々を風から守る巨大な石垣です。冬には島の北西から島全体に激しい風が吹くことがよくあるのです。こうした建造物の中には風雪から守りたい家そのものよりも高さがあるものもあり、家々の間を蛇行する狭い通りと一緒に、女木島の人口密集地域をどことなく中世の要塞のように感じさせます。